プログラム

第１日目　１０月１７日（土）

8:50–9:00　**開会挨拶**

9:00–9:10　**令和８年度生薬天然物部会奨励研究授与式**

9:10–9:30　**令和８年度生薬天然物部会奨励研究受賞講演①**

AL-1　海洋由来真菌からの *Candida auris* に有効な抗真菌天然物の探索研究

鎌内 等（武蔵野大薬）

座長：市瀬 浩志（武蔵野大薬）

9:35–10:50　**一般講演（1）**

座長：吉村 彩（北大院薬）

O-01　ヤクモソウから単離された labdane 型ジテルペノイドの構造

（東京薬大薬）

〇島﨑 珠美, 井口 巴樹, 田渕 桃香, 藤平 莉緒, 三巻 祥浩

O-02　天然物推定法 NP-FLOCK と分子ネットワーク解析を用いた真菌 *Penicillium citrinum* 由来新規天然物の探索

（熊本大院薬）

〇貞廣 優作, 辻 隼澄, 塚本 佐知子, 人羅 勇気

O-03　深海由来微生物 *Serinicoccus marinus* KDM482 株が生産する新規アゼピン化合物に関する研究

（[1] 近畿大院農, [2] 北里大薬, [3] 東北医薬大, [4] 近畿大アグリ技研）

〇向井 志織 [1], 坂口 舞 [1], 関 怜子 [2], 長井 賢一郎 [2], 八木 瑛穂 [3], 内田 龍児 [3], 安藤 正史 [1], 田中 照佳 [1,4], 福田 隆志 [1,4]

O-04　海洋シアノバクテリア由来新規デプシペプチド shimojilide の単離、構造決定および作用標的

（[1] 慶大理工, [2] 東大定量研, [3] がん研化療セ, [4] 理研 CSRS）

〇仁井山 瑞歩 [1], 栗澤 尚瑛 [1], 元山 かん奈 [2], 旦 慎吾 [3], 室井 誠 [4], 馬島 哲夫 [3], 豊島 近 [2], 末永 聖武 [1]

O-05　渦鞭毛藻 *Symbiodinium* sp. 由来マクロリド Symbiodinolactone A–D の構造および生合成に関する研究

（[1] 岡山大薬, [2] 岡山大院医歯薬, [3] 広島大放射光）

〇海士部 あすか [1], 栗本 慎一郎 [2], 松尾 光一 [3], 久保田 高明 [2]

11:00–12:15　**一般講演（2）**

座長：森 貴裕（早大先進理工）

O-06　抗腫瘍性天然物 vinigrol の骨格形成機構から派生する新規骨格群の発見

（東北大院薬）

〇佐藤 史都, 尾﨑 太郎, 森下 陽平, 浅井 禎吾

O-07　抗腫瘍活性 pimarane 型ジテルペン myrocin 類生合成における酸化酵素の機能解析

（東北大院薬）

〇藤木 竣大, 森下 陽平, 佐藤 史都, 園原 照孝, 菅原 章公, 尾﨑 太郎, 浅井 禎吾

O-08　修飾アミノ酸を前駆体とするヒドラジン生合成経路の探索と機能解析

（北大院薬）

〇中原 悠斗, 松田 研一, 脇本 敏幸

O-09　N–N 結合含有ヘテロ環形成に関わるアシルヒドラジン加水分解酵素 Apy4 の機能解析

（北大院薬）

〇福井 秀弥, 有馬 陸, 山田 惟人, 松田 研一, 脇本 敏幸

O-10　生物活性指向型ゲノムマイニング手法の構築

（北大院薬）

〇馬目 照久, 中田 隆介, 吉村 彩, 脇本 敏幸

12:15–14:00　**昼食**

14:00–15:15　**一般講演（3）**

座長：原 康雅（香川大院農）

O-11　TKS および OAC を用いた多様な芳香族側鎖オリベトール酸類縁体のコンビナトリアル生合成

（富山大 和漢医薬学総合研究所）

〇Saw Yu Yu Hnin, Le Pham Thuy An, 中嶋 優, 阿部 郁朗, 森田 洋行

O-12　イリドイド類による Factor Inhibiting HIF-1α（FIH）の新規非キレート型阻害機構の解明

（富山大 和漢医薬学総合研究所）

〇Yochidamai Akhsanitaqwim, 中嶋 優, 森田 洋行

O-13　海洋天然物を基盤とする 3-アミノキノリン誘導体の合成と抗潜在性結核活性評価および標的同定への応用

（[1] 立命館大薬, [2] 阪大薬, [3] 阪大院薬）

〇柳原 成智 [1], 寺岡 瑞菜 [1], 磯部 真衣 [1], 望月 優音 [1], 堀之内 里玖 [2], 中瀬 翔渡 [2], 荒井 雅吉 [2,3], 古徳 直之 [1]

O-14　植物由来βASG の合成と Mincle 活性化機能解析

（[1] 慶大理工, [2] 山梨大生命環境, [3] 阪大微研, [4] 阪大 IFReC）

〇吉田 健二 [1], 松丸 尊紀 [1,2], 望月 慎吾 [1], 相羽 俊彦 [1], 山崎 晶 [3,4], 藤本 ゆかり [1]

O-15　ゴールデン（未精製）ホホバオイルの化粧品素材としての特性解析：酸化安定性、抗酸化活性、抱水性、及びヒト表皮細胞に対する作用

（[1] 阪大院薬, [2] サラヤ（株）サラヤ総合研）

〇土本 卓 [1], 一柳 尚毅 [1,2], 酒井 啓江 [1], 竹内 智佐 [1], 平田 善彦 [1,2], 福井 希一 [1], 荒井 雅吉 [1]

15:25–15:30　**次回シンポジウムのご案内**

久保田 高明（岡山大院医歯薬）

15:30–16:20　**特別講演①**

座長：荒井 緑（慶大理工）

PL-1　スギヒラタケ急性脳症事件の化学的・科学的解明　–3 つの物質の関与–

河岸 洋和（静岡大農）

16:25–17:15　**特別講演②**

座長：荒井 緑（慶大理工）

PL-2　植物オキシリピンホルモンの化学と生物学

上田 実（東北大院理）

17:45-　**懇親会**（矢上キャンパス 16A 棟 厚生棟 2F）

第２日目　１０月１８日（日）

9:00–9:20　**令和８年度生薬天然物部会奨励研究受賞講演②**

AL-2　植物資源を由来とする新規腫瘍細胞毒性化合物の探索研究

井口 巴樹（東京薬大薬）

座長：三巻 祥浩（東京薬大薬）

9:25–10:25　**一般講演（4）**

座長：森下 陽平（東北大院薬）

O-16　異宿主発現による抗マラリア活性化合物 lucilactaene の生合成経路の解明

（[1]静岡県立大薬, [2]理研環境資源セ, [3]微生物化学研究所）

〇髙井 紀彰[1], 中原 実玖[1], 小井 清楓[1], 佐藤 道大[1], 長田 裕之[2,3], 渡辺 賢二[1]

O-17　Glycinoeclepin A 炭素骨格生合成メカニズムの解明

（[1]静岡県立大薬, [2]京大院薬）

〇伊藤 想将[1], 福島 渚生[1], 村上 侑太郎[1], 山口 友喜[1], 岡本 拓実[1], 渡邉 正悟[1], 岸本 真治[1,2], 渡辺 賢二[1]

O-18　*Aspergillus lentulus* において見出された麦角アルカロイド生合成の収斂進化

（[1]静岡県立大薬, [2]京大院薬, [3]UCLA）

〇髙橋 陸人[1], 鈴木 亮大[1], 永井 拓実[1], 渡邉 正悟[1], 岸本 真治[1,2], 原 幸大[1], 橋本 博[1], Kendall N. Houk[3], 渡辺 賢二[1]

O-19　大腸がん原因物質コリバクチン産生菌に対する抗生物質の開発

（[1]静岡県立大薬, [2]静岡県立大食品栄養, [3]株式会社アデノプリベント）

〇新貝 龍旦[1], 山下 慎ノ介[1], 小林 裕輝[1], 吉岡 泰淳[2], 三好 規之[2], 永翁 一代[1,3], 佐藤 道大[1], 渡辺 賢二[1,3]

10:35–11:55　**シンポジウム「食品成分による生体機能制御の新展開」**

座長：齋藤 駿（慶大理工）

SL-1　テストステロン生合成を促進する食品成分探索と
男性更年期対策食品への応用

加藤 英介（北大院農）

SL-2　食品成分と腸内細菌の相互作用による生理活性物質の産生

栗原 新（近畿大生物理工）

SL-3　大豆イソフラボンのエストロゲン様作用に依存しない抗肥満作用と
その分子機構

三谷 塁一（信州大農）

11:55–13:40　**昼食**

13:40–15:00　**ポスタープレゼンテーション**

（13:40–14:20　奇数番号、14:20–15:00　偶数番号）

P-01　ミモザ由来新規フラボノイド配糖体の単離構造解析とマウス社交性・情動行動への影響

（[1] オリザ油化（株）, [2] 近畿大薬総研, [3] 近畿大アンチエイジングセ）

〇竹田 翔伍 [1], 下田 博司 [1], 白井 聖也 [1], Khin Myat Noe Win[1], 久保 瑞希 [1], 森川 敏生 [2,3]

P-02　^{13}C NMR 経験則と計算化学による天然物の構造検証 ―Solidagocanin A の構造改訂を例として―

（[1] 近畿大薬総研, [2] 近畿大アンチエイジングセ）

〇西殿 悠人 [1], 森川 敏生 [1,2]

P-03　5 種の薬草に含まれる GABAB 受容体活性化成分の探索

（佐賀大院先進健康科学）

〇沼瀬 あかり, 川添 嘉徳

P-04　*Curcuma zedoaria* からのフェロトーシスを誘導する天然物の探索

（[1] 香川大院農, [2] クルナ大, [3] ダッカ大, [4] 千葉大共用機器セ, [5] 香川大農）

〇樽井 優華 [1], Samir K. Sadhu[2], Firoj Ahmed[3], 石橋 正己 [4], 原 康雅 [1,5]

P-05　*Mycobacterium smegmatis* により産生誘導される真菌由来の抗菌物質の探索

（[1] 阪大院薬, [2] 阪大薬, [3] ランプン大理）

〇武田 佳菜子 [1], 堀之内 里玖 [2], Andi Setiawan[3], 原田 和生 [1,2], 君嶋 敦 [1,2], 荒井 雅吉 [1,2]

P-06　タバコ由来の植物培養細胞に対して増殖制御作用を有する真菌代謝物の探索

（熊本大院薬）

〇坂梨 楓佳, 貞廣 優作, 塚本 佐知子, 人羅 勇気

P-07　真菌 *Paramyrothecium* sp. BF-1049 株が生産する新規アリルアルコール系化合物の単離精製および構造決定

（[1] 北里大薬, [2] 愛知がんセ研）

〇早川 遼河 [1], 大手 聡 [1], 加賀美 楓果 [1], 小田原 文香 [1], 佐藤 龍洋 [2], 大城 太一 [1]

P-08　Fruiting liquid 由来の生物活性物質の探索

（[1] 岩手大農, [2] 静岡大農）

〇畑 結菜 [1], 河岸 洋和 [2], 呉 静 [1]

P-09　新規クラス D β-ラクタマーゼ特異的阻害剤 JBIR-155 の合成研究

（慶大薬）

〇石橋 洸希, 西村 壮央, 吉田 慶季, 菊地 晴久

P-10　天然物の構造を基盤とした花びら型中分子化合物群の創出

（慶大薬）

〇小西 啓太, 西村 壮央, 菊地 晴久

P-11　Cupin 金属酵素を用いた aza-β^3-アミノ酸の化学-酵素合成の拡張

（[1] 北大薬, [2] 北大院薬）

〇浦井 眞之介 [1], 有馬 陸 [2], 松田 研一 [1,2], 脇本 敏幸 [1,2]

P-12　非リボソームペプチド環化酵素ペニシリン結合タンパク質型チオエステラーゼの網羅的な探索と機能解析

（北大院薬）

〇横山 光海, 山田 惟人, 新倉 慎也, 上田 龍聖, 市原 凛太郎, 小林 雅和, 松田 研一, 脇本 敏幸

P-13　アマチャカルスを基盤としたジヒドロイソクマリン類の生産向上と生合成関連遺伝子の同定研究

（京都薬大）

〇中村 誠宏, 髙見 朋花, 月岡 淳子, 太田 智絵

P-14　機械学習によるインフルエンザヘマグルチニン結合性ペプチドの予測

（慶大理工）

〇大山 琴美, 松原 輝彦

P-15　ツバキ種子含有 camelliasaponin B2 の脂質吸収抑制作用および camelliasaponin 類の一斉定量分析

（[1] 近畿大薬総研, [2] 近畿大アンチエイジングセ, [3] 武田薬品 京都薬用植物園, [4] 生産開発科学研, [5] 京都有機化学研）

〇高田 隆矢 [1], 吉川 真以 [1], 大津 行延 [1], 西川 勝悟 [1], 小島 正明 [3], 安藤 匡哉 [3], 野崎 香樹 [3], 眞岡 孝至 [4], 松田 久司 [1,4,5], 森川 敏生 [1,2]

P-16　ローズヒップ（*Rosa canina* L.）の抗糖化作用成分

（[1]近畿大薬総研, [2]近畿大アンチエイジングセ, [3]森下仁丹（株））

〇南部 拓海[1], 澤田 渚[1], 中尾 美樹[1], 高田 隆矢[1], 西殿 悠人[1], 長友 暁史[3], 森川 敏生[1,2]

P-17　オオバゲッキツ葉部由来カルスにおけるgirinimbineの生産およびヒト神経膠芽腫株 U-251 MG 由来がん幹細胞に対する駆逐作用

（京都薬大）

〇太田 智絵, 峻 朋美, 髙見 朋花, 月岡 淳子, 中村 誠宏

P-18　アゾキシ含有天然物 maniwamycin 類のがん幹細胞抑制機構の解析

（慶大理工）

〇萩原 里咲, 井澤 なのは, 船山 佳世, 齋藤 駿, 荒井 緑

P-19　ディスコイド型天然物 resistomycin 類による放線菌の耐熱性促進機構の解析

（[1]慶大理工, [2]理研 CSRS, [3]神戸大院・農学）

〇加藤 佑哉[1], 奥村 薫里香[1], 齋藤 駿[1], 佐々木 亮介[2], 佐藤 心郎[2], 多部田 弘光[2,3], 平井 優美[2], 荒井 緑[1]

15:15–16:15　**一般講演（5）**

座長：太田 智絵（京都薬大）

O-20　真菌由来環状デプシペプチドによる amphotericin B の抗真菌活性増強とカイコ感染モデルにおける治療効果

（東北医薬大薬）

〇八木 瑛穂, 木村 勇希, 白石 京子, 内田 龍児

O-21　インドネシア由来真菌 *Talaromyces* sp. IDNF-0018 株が生産する SOAT 阻害活性物質に関する研究

（[1] 北里大院薬, [2] ハサヌディン大薬）

〇佐々木 真事 [1], 小林 啓介 [1], 明星 瑠梨 [1], 大手 聡 [1], 茂野 聡 [1], Elyza Aiman Azizah Nur[1], Herlina Rante[2], Nana Juniarti Natsir Djide[2], 供田 洋 [1], 大城 太一 [1]

O-22　LC-MS を用いた天然資源由来メチルグリオキサール（MGO）捕捉化合物の探索と反応特性解析

（東邦大薬）

〇菊地 崇, 羅 暢, 大月 興春, 李 巍

O-23　人工天然物エキスを用いた新規 PROTAC の創製

（慶大理工）

〇中村 友軌, 吉見 麻衣, 齋藤 駿, 荒井 緑

16:15–16:20　**閉会挨拶**